

第6学年 総合的な学習の時間 わくわくサポートプラン

令和4年1月21日（金）第2時限

指導者 長岡 里奈

- 1 単元名 名古屋の魅力を伝えよう
- 2 単元の目標（児童につけさせたい力）別紙参照
- 3 単元の全体計画（46時間完了）

学習過程	時数	活動内容
① ふれる	9	「名古屋の魅力」について、様々な機関（名古屋観光コンベンションビューロー、有松・鳴海絞り、珈琲所コメダ珈琲店、レゴランド・ジャパン）の出前授業を通して、名古屋市にはどのような魅力があるのかを知り、「名古屋の魅力を他者に伝える」ことを一人一人が自分ごととして捉え、探究の動機付けにする。
② 問いの設定	6	これまでの「ふれる」活動を生かしながら、自分（たち）が何に興味をもち、どのような活動をしたいのかを決める。
③ 企画書作成	2	自分（たち）で立てた問いを解決するための企画書を作成する。
④ 探究活動	20	毎時、わくわくマップ（計画表）を確認しながら、探究活動を進めていく。学習履歴図を活用しながら、次時の探究活動に生かす。
⑤ ふりかえり （グループ・個人）	7 （本時 3/7）	これまでの探究を通して、つけたい力がついたのか、ゴールが達成できたのか、解決できなかった課題は何かを考える。また、自分（たち）が伝えたいことを、最適な方法で伝える発表の準備をする。
⑥ 発表	2	これまでの探究で学んだことを生かし、様々な方法で他者に伝える活動をする。また、つけたい力や大変だったこと、どんなところが成長したのかなども含めて発表する。

4 本時に至るまで

(1) 「ふれる」

名古屋の魅力を発信していく必要性や意欲がもてるようにするため、外部の機関と連携し、出前授業を行った。出前授業を通して、実際に話を聞いたり体験したりしたことで子どもたちは名古屋の魅力について十分にふれることができた。

【出前授業】

○ 名古屋観光コンベンションビューロー

何をしている会社なのか、名古屋の観光者数の状況はどうか、名古屋市全体ではどのようなところに魅力があるのか、名古屋のPR（ファンを増やす）はどのようにしているのかなど、名古屋に関わる幅広い分野について教えていただいた。「名古屋には魅力がない。」は間違っていることに子どもたちが気付くきっかけとなり、探究を進めていく上での最初の動機付けとなった。



○ 有松・鳴海絞り

職人の方に来てもらい、絞り染めについて話を聞いた。その後の絞り染め体験では、様々な柄の中から好きなものを選んで児童一人一人模様の違うハンカチ作りに挑戦した。名古屋の伝統工芸に触れることができた。



○ 珈琲所コメダ珈琲店

珈琲所コメダ珈琲店の方に来ていただき、名古屋の喫茶文化がどう生まれたのか、コメダ珈琲の「おもてなし」などの様々な話を聞いた後、ミニシロノワールづくりに挑戦した。



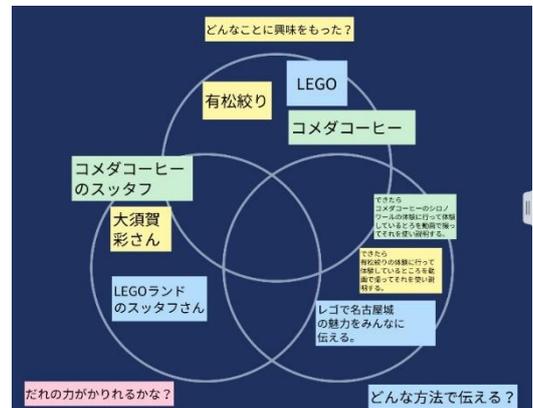
○ レゴランド・ジャパン

レゴランドの方に来ていただき、レゴランドの魅力について話を聞いた後、実際にレゴブロックを用いて、お題に沿った形を作ったり、ペアで橋をかけたりする課題解決型のワークショップを行った。この体験から、協力・役割分担が大切といった、わくわく学習を進めていく大事な視点を学ぶことができた。また、探究のゴールとして、何かを作ることにも1つの方法だと気づき、ゴールのイメージを広げることができた。



(2) 「問いの設定」

「ふれる」活動が終わり、自分が何に興味をもち、探究活動でどんなゴールを目指したいか自分たちの活動を具体的にイメージしていくようにした。まずは、「自分が名古屋のどんなことに興味をもったのか」「どんな方法で伝えたいのか」「だれの力が借りられそうか」を考え、その3つの要素が掛け合わさったもの(問い)が真ん中にくるようにした。



国語科 単元「立場を決めて、主張を明確にしよう」と関連させて

その後、国語科のパネルディスカッションの単元で、テーマを「名古屋を好きになってもらうには、名古屋のどんな魅力を、どんな方法で伝えればよいか」として、今自分たちが考えていることを出し合い、みんなでイメージを広げていくことを目標に話し合いを行った。子どもたちは、ランダムに分けた3~4人のグループで、各自のアイデアを持ち寄って話し合い、まとめたものをグル

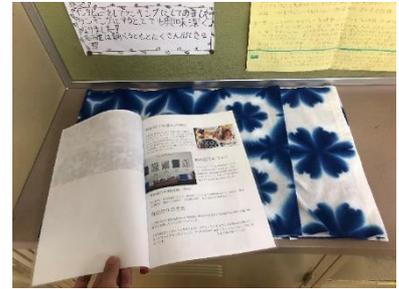


ープの主張として、発表していった。発表を聞いたり、質疑応答をしたりする中で、どんな方法で伝えるのか？というところだけでなく、そもそも本当に伝えたいことは何か？だれに伝えたいのか？伝えた時にどうなってほしいのか？といった探究を進めていく上で、大切な部分に気付くことができた。

夏休み自由研究「名古屋の魅力を発見しよう」

夏休みの期間を利用し、子ども自身が「名古屋」についてのアンテナを広げ、興味のあることについて自分の好きな方法でまとめた。ポスターやパンフレット、工作、プレゼンテーションソフトのスライド、動画など、思い思いの方法で取り組むことができた。

その後、それぞれが取り組んだ内容や方法をイメージとして共有しながら、自分たちがやりたいことを具体的に考え、やりたいことが似ているメンバーでグループをつくっていった。



(3)「企画書作成」

数人のグループで企画書を作成した。プロジェクトについてどんなゴールを目指す(何を誰にどんな方法で伝える)のか、プロジェクトを進める上で調べる必要があることは何か、プロジェクトを進める上で許可や確認が必要なことを考えることで、プロジェクトを徐々に具体的にしていっていった。

企画書

プロジェクト名

チーム名 メンバー

・プロジェクトについて

何を伝えたい?

だれに伝えたい?

どんな方法で?

ゴールは?

↓

なるべく多くの人にクイズ・スタンプラリーをやってもらえるように、名古屋めしの魅力や歴史、文化などをみんなに知ってもらい、伝播してもらい、実際に食べてもらい、興味を持ってもらうこと

プロジェクトを進める上で調べる必要があること

- ・名古屋めしの歴史
- ・クイズ・スタンプラリーを置いてもらえるところ
- ・クイズ・スタンプラリーの票品を置いてもらえるところ
- ・名古屋めしに詳しい方
- ・スタンプ(押しゴムハンコ)の作りかた

プロジェクトを進める上で許可や確認が必要なこと(だれに?何を?)

- ・お店にクイズ・スタンプラリーを置いてもらう許可
- ・お店に台紙を置いてもらう許可
- ・コミュニケーションセンターにスタンプの台紙を置いてもらう許可
- ・(お店に)写真を撮らせていただく許可

外部との関わり (Zoomでの意見交流会)

「ふれる」から継続して、名古屋観光コンベンションビューロー、レゴランド・ジャパン、珈琲所コメダ珈琲店と Zoomをつなぎ、作成した企画書についてそれぞれの専門分野の視点から児童に疑問や意見を投げかけていただいた。子どもたちはアイデアをいただいたり、自分たちがその会社に還元できることはないのかを考えたりした。

(例)・動画を作るのであれば、まずは自分が観ていて好きな動画の作り方を真似してみる。長すぎてもだめ。



・名古屋飯の魅力を他県の人に伝えるのであれば、その県の名物も調べて比較するとより伝わるかもしれない。

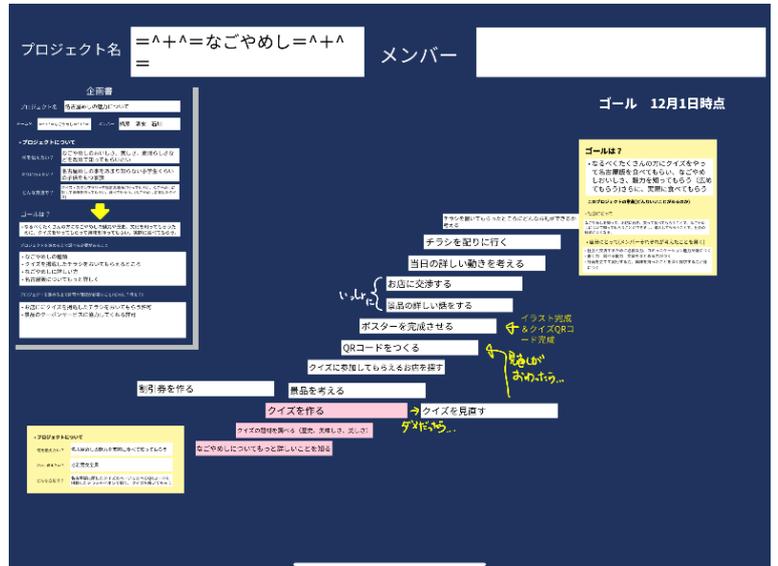
その後、いただいた意見等を参考にしながら、それぞれのグループが企画を練り直し、それぞれの探究活動につなげていった。

(4)「探究活動」

グループ編成は別紙参照。各グループがゴールを目指して探究活動を進めていった。

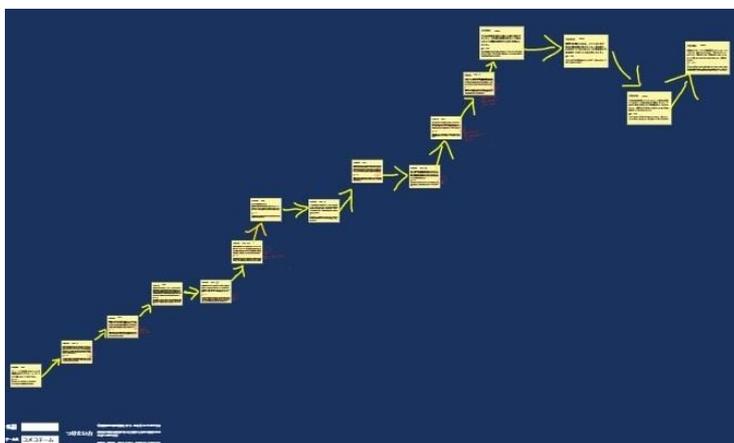
「ロイロノートスクール」を活用した計画表を作成し、探究活動の見通しをもつ

今年度は、昨年度のわくわくマップ（企画書・計画書）をさらに進化させ、右の図のようなわくわくマップ（計画書）を作成した。左下からスタートし、右上のゴールに向けて何をすればよいのか書き出し、計画を立てた。児童がわくわくマップ（計画書）をあまり活用してなさそうな時には、終わった項目の色を変えたり、計画を修正したりするように促した。また、時々見直して最新版を提出することで、見通しをもって活動が進められるよう留意した。



「ロイロノートスクール」を活用した学習履歴図を記入し、学習を振り返る

今年度は、学習履歴図もロイロノートで作成した。毎回授業後に、「今日したこと」「矢印の理由」「ついた力」を記入することで、自分たちの活動を振り返った。



10月26日 ついた力 ①

最初はこの前の続きのコメダについて調べようをやると思っていたけど新しく聞いてみたいと思ったこともあり長岡先生と東條さんにアドバイスをしてもらい計画の進め方を変えました。低学年への伝え方について考えて自分の意見を伝えて賛成してもらえたのでそれについてシートに書いておくことができました。

矢印(→)の理由

この先どう進めていけば正解わからなくなっていたけど新しくやりたいと思ったことがあったので心が少しずつでもわくわくしたから。

関わりながら探究を進める

<クラスや学年の友達との関わり>

探究活動では、できる限り2クラスで同じ時間に活動するようにした。他のグループの活動について自由に見たり、聞いたりできるようにした。結果、同じようなテーマで活動するグループ同士でアドバイスをし合ったり、違うテーマのグループの活動から新たな視点を得たりと活動が広がっていった。

<喜沢小学校（埼玉県戸田市）とのオンライン交流会>

探究活動を進めていくうちに、名古屋の魅力を他県の小学生に伝えたいという声があがった。そこで、夏休みに職員同士でお互いの PBL の実践等を伝え合うオンライン研修を行った埼玉県戸田市の喜沢小学校と、お互いのプロジェクトについて意見交流や発表などもできたら子ども同士の交流を行うことになった。自己紹介やお互いの学校や地域に関するクイズなどを行い、楽しく交流することができた。



<外部との関わり>（Zoom ミーティング）

珈琲所コメダ珈琲店の魅力を伝えるグループは、コメダ珈琲さんと Zoom ミーティングを行うことができた。これまでに作成したコメダに関するクイズやマンガについて、自分たちの思いや考えを踏まえ伝えることができた。伝えた上で、もっとこうするといいよ、この情報は少し違うね、など間違った情報を発信しないようにアドバイスや修正案をいただき、珈琲所コメダ珈琲店の魅力についてさらに深く知ることができた。



フィールドワーク（市内各所）

「本物にふれる」体験ができるよう、それぞれが自分たちのプロジェクトに関係のある施設等にフィールドワークに出掛けた。プロジェクトのゴールが定まり、どのグループも目的意識をもってフィールドワークに出掛けることができ、大きな収穫を得ることができた。

<見学先> レゴランド・ジャパン、珈琲所コメダ珈琲店本社、オアシス 21 i センター
名古屋城、名古屋港水族館、東山動植物園、名古屋市科学館、名古屋市博物館
中部電力 MIRAI TOWER、オアシス 21、熱田神宮

<飲食店> 珈琲所コメダ珈琲店メッツ大曾根店
金シャチ横丁（山本屋総本家、鳥開総本家、矢場とん、名古屋とうふ 河口、
あんかけ太郎）
名古屋めし食堂 丸八 名古屋店、味仙 矢場店
大須商店街（李さんの台湾名物屋台、築地銀だこ、栗りん、タピオカ専門店シンジキ）



(5) 「ふりかえり」

「名古屋の魅力を伝えよう」の一年間の活動を通して、自分たちのゴールは達成できたのか、なぜ達成できた（できなかった）のか、自分が身に付けたい力が付いたのか、成長したことは何かを順を追って振り返る。

A、ゴールのふりかえり

参加者からのアンケート結果などを整理し、ゴールが達成できたのか、できなかったのか、良かった点や改善点を洗い出す。

B、プロジェクトのふりかえり

一年間、自分たちがやってきたことや身についた力、学んだことなどについて、個人やグループで振り返る。

C、わくわくフェスタに向けての準備

プロジェクトの目的や経過とゴールの内容・どのように実現したか(実現しようとしたか)、また何を学びどんな力が付いたのかを、それぞれのグループがどのような方法で、何を伝えるのか考え、発表の形にしていく。

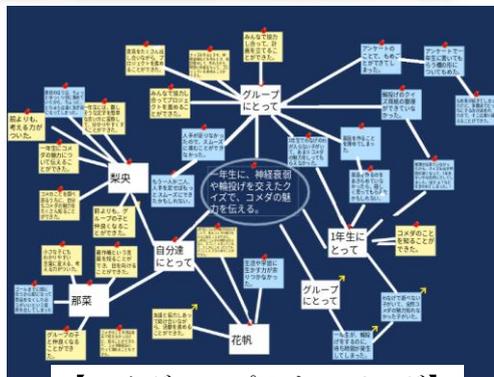
5 本時について

(1) 本時に準備するもの

- ・わくわくフェスタまでの見通しを示した掲示物「わくわくフェスタまでの道のり」

(2) 本時の展開

展開	主な学習活動と子どもの様子	
つかむ (3分)	<p>1 わくわくフェスタに向けてどのような活動(ふりかえり・準備)を行っていくのかを確認する。</p> <p>今日のめあては、わくわくフェスタへの見通しをもって自分に合った活動しましょう。</p>	
ふりかえり (39分)	<p>2 グループでどのような活動をするのか確認し、「わくわくフェスタまでの道のり」に自分たちのグループのマグネットを貼る。</p> <p>ぼくのグループはプロジェクトの振り返りからだから、ここかな。</p> 	<p>グループでどのふりかえりをするか確認し、マグネットを貼りましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="813 784 1109 1064"> <p>A : ゴールのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の活動で、自分たちの目的はどれだけ達成できた? (100点中〇点) ・なぜその点数? ・活動の良かったところ ・活動した後に、分かった課題もしくは残った課題 </div> <div data-bbox="1125 784 1428 1120"> <p>B : プロジェクトのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループで共有ノートに ★よかったこと、課題は? ・自分にとって ・グループにとって ・相手にとって ○ 一人一人がログブックに ・つけたい力はついたか ・それ以外で成長できたこと ・学んだこと </div> </div> <p>ウェビングを使って、よかったことや課題を確認して振り返ろう。</p> 
本時の振り返り (3分)	<p>3 いくつかのグループの振り返りの様子を紹介し、次時の見通しをもつ。</p> <p>うまく相手に伝わらなかったことが課題なんだね。</p>  <p>ぼくは、このプロジェクトを通して課題に粘り強く取り組むことができた。</p>	<p>小さな子に分かりやすく伝える力がついたかな。このプロジェクトを通して、友達の仲がさらに深まったな。</p>  <p>もう少し簡単な言葉で説明できたらよかった。</p>



【6班グループのウェビング】

内容

★わくわくフェスタまでの道のり★

伝える

A: ゴールのふりかえり

- アンケートなどから…
- ・当日の活動で、自分たちの目的はどれだけ達成できた？
(100点中○点)
 - ・なぜその点数？
 - ・活動の良かったところ
 - ・活動した後に、
分かった課題
もしくは残った課題

B: プロジェクトのふりかえり

- グループで (共有ノートに)
- ★よかったこと、課題は？
 - ・自分にとって
 - ・グループにとって
 - ・相手にとって
- 一人一人が (ログブックに)
- ・つきたい力がついたか (p 6)
 - ・それ以外で成長できたこと
(p 10)
 - ・学んだこと (p 10)

C: 発表 (5分) に向けて

- プロジェクト (グループ)
- ★どんな方法で伝えよう？
 - ・一年間やってきたこと
 - ・特に伝えたいこと
- 自分の成長 (一人一人)
- ・ついた力
 - ・成長できたこと
 - ・学んだこと

段階	グループ名	テーマ	最終ゴール
A, B	1班 名古屋の魅力発見	名古屋の観光地の魅力 (名古屋港水族館と大須商店街) を伝えたい。	喜沢小6年生に、パワーポイントでまとめたもので名古屋港水族館と大須商店街の魅力を伝える。(Zoom)
A, B	2班 なごやめし	名古屋飯のおいしさや魅力を知ってもらい、実際に食べてもらいたい。	イオンモールナゴヤドーム前のイベントスペースで、一般の方向けにイベントを開催する。クイズ (QRコードを載せたチラシを配布) や間違い探しをやってもらい、名古屋飯の魅力を伝える。
A, B	3班 ハッピーアクアリウム	名古屋港水族館の魅力を伝えたい。	喜沢小6年生に、パワーポイントでまとめたもので名古屋港水族館の魅力を伝える。(Zoom)
A, B	4班 なごやの生きものがいるところはたのしい! スゴイ! ということをしってもらおう!	名古屋の観光地 (名古屋港水族館、東山動植物園) の魅力について、知ってもらいたい。	校内の1年生向けのイベントで、名古屋港水族館、東山動植物園の魅力を○×クイズで伝える。クイズに参加した1年生には認定証を渡す。
A, B	5班 レゴランド	レゴランドやレゴホテルの魅力について伝えたい。	喜沢小6年生にロイロノートでまとめたものでレゴランドやレゴホテルの魅力を伝える。(Zoom)
C	6班 コメコチーム	珈琲所コメダ珈琲店の魅力を伝えたい。	校内の1年生向けのイベントで、神経衰弱・輪投げのゲームとクイズでコメダ珈琲店の魅力を伝える。
A, B	7班 名古屋めし	名古屋飯の魅力を伝えたい。	喜沢小学校6年生に、ロイロノートでまとめたもので名古屋飯の魅力を伝える。(Zoom)

A、B	8班 名古屋探検隊	名古屋城、オアシス21、 中部電力 MIRAI TOWER の魅 力について、知ってもらい たい。	喜沢小6年生に、名古屋城、オアシス2 1、中部電力 MIRAI TOWER の魅力を動画を 使って伝える。(Zoom)
A、B	9班 名古屋の観光地	名古屋の観光地(名古屋港 水族館、レゴランド、名古 屋城)の魅力を伝えたい。	校内の1年生と一緒に、名古屋港水族館、 レゴランド、名古屋城の魅力が詰まったす ごろくで遊び、楽しく知ってもらおう。
A、B	10班 名古屋一歩	名古屋港水族館と矢場とん の魅力を伝えたい。	喜沢小学校6年生に、イーレポートを使っ て名古屋港水族館と矢場とんの魅力を伝え る。(Zoom)
A、B	11班 名古屋飯クイズ	名古屋飯の魅力について伝 えたい。	校内の1年生向けのイベントで名古屋飯の 魅力を伝える。伝えたあとにはクイズを行 う。参加した人には参加賞として名古屋め しが描かれたシールを渡す。
A、B	12班 LEGOLAND Japan 宣伝チーム	レゴランドの魅力(レゴの 作品づくりとレゴランドの 魅力)について伝えたい。	校内の1年生向けのイベントで、ロイロノ ートを使ってレゴランドの魅力について伝 える。また実際にレゴランドで行っている ワークショップを真似たお弁当づくりをや ってもらい、レゴの作品づくりの魅力も伝 える。
A、B	13班 名古屋弁	名古屋弁が面白いことを伝 えたい。	校内の1年生向けのイベントで、ポスター でまとめたもの(クイズ形式)で伝える。

矢田小学校「わくわく学習」でつけたい力(6年)

評価規準	具体的な姿
わくわく発見力	<ul style="list-style-type: none"> 生活や学習のなかから疑問を発見することができる。 疑問を解決することにわくわくすることができる。
わくわく解決プランニング力	<ul style="list-style-type: none"> 解決のための見通しやゴールをもつことができる。 解決のための計画を立てることができる。
わくわく探究力	<ul style="list-style-type: none"> 分類・整理した情報から、自分なりの考えをもつことができる。 課題解決に粘り強く取り組むことができる。
伝えたいことを表現する力	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを相手にわかりやすく伝えることができる。 自分の考えを適切な方法で表現することができる。
他者と関わる力	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと協力して課題を解決することができる。 自分と異なる意見や考えを大切にしながら他者と関わるることができる。
自己を見つめる力	<ul style="list-style-type: none"> 学びを振り返りながら、ゴールに向かうことができる。 学んだことを生活や学習に活かすことができる。 社会・地域の一員として考え、行動することができる。